

庁舎防災拠点整備事業

—No.25 和光市—

【事業の目的】

大規模災害等が発生した場合に備え、災害対策本部の拠点となる和光市庁舎施設の防災機能を高めることにより、周辺地区住民の安心安全の向上に寄与することを目的としています。

【事業の内容】

工事名 庁舎防災拠点整備工事

市庁舎（SRC 造地上6階・地下1階 延床面積 12,113 m²）

外壁改修：外壁タイル一部張替え

庁議室改修：電気・電話線の増設、OA フロアー化、壁面パーテーションウォール設置

非常用放送設備：機器交換

内装改修：ガラス飛散防止フィルム設置、階段室ひび割れ補修

バリアフリー整備：点字ブロック張替え整備、行政棟1階扉の自動化

外灯 LED 化：駐車場内、市民広場内

便所洋式化：行政棟地上1階・地下1階ほか

【事業年度】

平成 28 年度～平成 30 年度（3 か年）（予定）

【予算額(千円)】

全体計画概算額 257,472 千円（平成 28 年度～平成 30 年度）

うち、87,303 千円（平成 29 年度）

【財源】

防衛施設周辺民生安定施設整備事業補助金（国）、一般財源（市）

【事業実施に至った背景・経緯】

和光市庁舎施設は、平成4年の竣工から25年が経過していますが、この間、大規模な修繕を行わず、また、平成23年に発生した東日本大震災の影響もあり、外壁タイルの一部が剥落し、庁内の階段室の壁にひび割れが生じるなど、大規模災害等が発生した場合に災害対策本部の拠点となる施設として、適切に修繕を行う必要がありました。

この庁舎施設の修繕については、朝霞訓練場等を起因とした災害発生時の防災拠点施設の整備として、防衛省の民生安定施設整備事業による助成を受け、実施しているものです。

【事業のPRポイント】

災害対策本部が設置される庁議室の壁の可動化や無停電電源装置の増設、非常用放送設備機器の交換などを行い、災害対策本部としての機能を向上させます。また、劣化した外壁タイルの張替え、階段室ひび割れの補修、窓ガラスへの飛散防止フィルムの貼付けなどを行うことにより、災害時に速やかに災害対策本部を設置することができるように施設の機能強化を図ります。

【事業実績・成果・今後の展開】

＜平成28年度＞ 工事設計書の作成

＜平成29年度・平成30年度＞ 改修工事の施工

【参考資料】

現状の写真



行政棟外壁タイル剥離状況



庁議室内の状況

〔 連絡先 〕

総務人権課 管財担当

048（464）1111（内線2378）